

案内

北海道医療大学 看護福祉学部学会 第12回学術大会

日時：9月12日(土)10:00～

会場：北海道医療大学サテライトキャンパス・ACU(北海道札幌市)

メインテーマ：健康格差に挑む

プログラム：講演「ホームレス支援から格差に挑む」中村あずさ(世界の医療団東京プロジェクトコーディネーター、社会福祉士)／シンポジウム「健康格差に挑む生活の支援」山内太郎(ホームレス支援北海道ネットワーク理事長)、上田学(新さっぽろ脳神経外科病院医療ソーシャルワーカー)、福田由佳(札幌市東区保健福祉部健康・子ども課保健師)、中村恵子(新ひだか町地域包括支援センターみつし保健師)、〈指定発言者〉中村あずさ／研究発表／懇親会(札幌ガーデンパレス)

参加費：2000円、学部学生無料、講演のみの参加無料 ※懇親会3500円

問い合わせ：事務局

FAX：0133-23-1304

E-mail：gakkai12kai@hoku-iryo-u.ac.jp

<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai/>

案内

神戸市看護大学 平成27年度看護専門職 公開講座

日時：9月12日(土)14:00～16:00

会場：神戸市看護大学ホール(兵庫県神戸市)

テーマ：看護におけるスピリチュアルケアースピリチュアルペインアセスメントシートの活用を中心に

講師：田村恵子(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻臨床看護学講座緩和ケア・老年看護学分野教授)

定員：500名

参加費：1000円

申し込み：往復ハガキまたはEメールにて、「9月12日専門職講座」と明記の上、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、職種(看護師、保健師、助産師等)、学部学生の別を書いて

申し込み先：事務局

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4

神戸市看護大学「看護専門職講座」

TEL：078-794-8080(代)

E-mail：office@tr.kobe-ccn.ac.jp

案内

聖ルカ臨床教育研究 セミナー2015

日時：10月17日(土)10:00～16:30

会場：聖路加国際大学1階 アリス・C・セントジョン記念ホール(東京都中央区)

テーマ：「医療の質と安全」をめぐる

講師：Jenny Doust(オーストラリア・ボンド大学教授)／Anupam B. Jena(ハーバード大学医学大学院准教授)／Laurent Degos(パリ・デイドロ大学名誉教授／フランス高等保健機関前最高責任者)／福井次矢(聖ルカ・ライフサイエンス研究所専務理事)

対象：医師、看護師、薬剤師、コメディカル、その他医療の質、医療安全に興味のある人なら誰でも

定員：250名

参加費：5000円(昼食込)※当研究所賛助会員は無料

申し込み：オンライン登録または専用申込用紙をFAX

問い合わせ：聖ルカ・ライフサイエンス研究所

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

TEL：03-5550-4101

FAX：03-5550-4114

E-mail：sllsi@luke.ac.jp

<https://sllsi.or.jp/>

案内

大分県立看護科学大学 第17回看護国際 フォーラム

日時：10月31日(土)12:30～17:00

会場：別府ビーコンプラザ国際会議場(大分県別府市)

テーマ：看護職を惹きつける魅力ある病院づくり

プログラム：講演「看護職の専門性向上—マグネットホスピタルからの発信」ポーリーン・J・エイブラハム(メイヨークリニック看護教育スペシャリスト・アウグスブルク大学准教授)／講演「いきいきと働きつづけられる職場づくりのプロ

モーション」大久保清子(福井県立大学看護福祉学部看護学科・看護福祉学研究科教授・日本看護協会副会長)／総合討論

参加費：一般2000円、学生500円

※同時通訳用レシーバー1000円別途

申し込み：Eメールまたは往復はがきに、①氏名、②所属、③同時通訳用レシーバー使用の有無、④メールアドレス(往復はがきの場合は返信用送付先)を明記

問い合わせ：事務局

〒870-1201 大分市大字廻栖野2944-9

大分県立看護科学大学内

TEL：097-586-4300

E-mail：forum2015@oita-nhs.ac.jp

案内・募集

第16回日本臨床 リハビリテーション 心理研究会

日時：11月8日(日)9:30～16:00

会場：慶應義塾大学三田キャンパス西校舎522教室(東京都港区)

テーマ：がん患者の心理とケア

プログラム：基調講演「がん患者の心理とケア」岡村仁(広島大学大学院医歯薬保健学研究科教授、精神科医)／「シンポジウム」神野俊介(映寿会みらい病院リハビリテーション部理学療法士)、柴崎美紀(杏林大学保健学部看護学科講師、看護師)、小林清香(東京女子医科大学神経精神科臨床心理士)／事例検討—グループワーク2事例

参加費：医師6000円、一般3000円

申し込み：Eメールにて氏名、所属、職種、アドレスを明記のこと

申し込み・問い合わせ：

E-mail：rehabiliopsychology@gmail.com

【事例募集】

応募方法：参加申し込み時に事例内容を記載

申し込み先：事務局

<http://rehapsycho.yaekumo.com/>

案内

第16回日本クリニカル パス学会学術集会

日時：11月13日(金)・14日(土)

会場：東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート(千葉県浦安市)

テーマ：未来に向けたクリニカルパス－スマートプラチナ時代の活用を探る

プログラム：特別講演(5題)山本容子(銅版画作家)、郡司篤晃(聖学院大学)、坂本すが(日本看護協会会長)、迫井正深(厚生労働省老健局老人保健課課長)、武藤真祐(祐ホームクリニック東京理事長・院長)／理事長講演・副島秀久(済生会熊本病院院長)／会長講演・小西敏郎(東京医療保健大学副学長・医療保健学部医療栄養学科長)／教育講演「アンケートを用いた研究の成果はエビデンスたり得るか?—秘訣教えます」比江島欣愼(東京医療保健大学大学院教授)／クリニカルパス教育セミナー(オーガナイザー)岡本泰岳(トヨタ記念病院)／論文の書き方セミナー・論文発表(座長)高瀬浩造(東京医科歯科大学)、小林美亜(千葉大学医学部附属病院)／シンポジウム(14題)①「外科系のクリニカルパス—何が変わり、何がよくなり、何がいけないの」(オーガナイザー)小西敏郎、磯部陽(東京医療センター)・②「内科疾患治療クリニカルパスの作成や使用は、何故、難しいのか?」(オーガナイザー)岡本泰岳・③「地域連携とクリニカルパス—優しい在宅医療体制をつくるケアサイクルの理解」(オーガナイザー)久保実(石川県立中央病院)、重田由美(北野病院)・④「地域連携とクリニカルパス—再入院を減少させるためのメディカルスタッフの取り組み」(オーガナイザー)重田由美、村木泰子(元武蔵野赤十字病院)・⑤「精神疾患ケア可視化への潮流—ブレイクスルーの鍵を探る」(オーガナイザー)大石智(北里大学医学部)、下村裕見子(北里大学大学院)・⑥「パス活動におけるセレンディビティー思いがけない発見から得たもの」(オーガナイザー)齋藤登(東京女子医科大学)・⑦「栄養管理と地域連携—病院から地域へ」(オーガナイザー)岡田晋吾(北美原クリニック)、高崎美幸(鶴巻温泉病院)・⑧「栄養マネジメントパス(最期まで口から美味しく食べられるケア)」(オーガナイザー)岡田晋吾、高崎美幸、⑨「がん治療におけるクリニカルパスとレジメンを考える」(オーガナイザー)若林進(杏林大学医学部付属病院)・⑩「包括評価制度下でクリニカルパスの運用効果を発揮するために」(オーガナイザー)今田光一(高岡整志会病院)、小林美亜・⑪「パスの使

用率・適用率って何?」(オーガナイザー)勝尾信一(福井総合病院)、河村進(四国がんセンター)・⑫「スマートプラチナ時代に必要なバリエーション分析機能」(オーガナイザー)白鳥義宗(名古屋大学医学部附属病院)・⑬「スマートプラチナ時代に向けたBOMの発展と未来」(オーガナイザー)白鳥義宗・⑭「生涯健康医療電子記録としてのクリニカルパス」(オーガナイザー)小西敏郎、瀬戸遼馬(東京医療保健大学)

※都啓一(SOPHIA)・久宝瑠理子夫妻トークショー(11月13日16:00～)

※懇親会(11月13日17:00～19:00)

参加費：(～10/13)8000円、(当日)1万円

問い合わせ：学術集会事務局
東京医療保健大学医療保健学部医療栄養学科(清水・齋藤)

〒154-8568 東京都世田谷区世田谷3-11-3

TEL：03-5799-3711

FAX：03-5799-3713

運営事務局：(株)コングレ(扇本／神山)

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル6階

TEL：03-5216-5318

FAX：03-5216-5552

E-mail：jscp2015@congre.co.jp

http://www.congre.co.jp/jscpl6/

案内

第1回 日本NP学会学術集会

日時：11月14日(土)10:00～

会場：大分県立看護科学大学(大分県大分市)

テーマ：診療看護師(NP)は社会を変える
プログラム：基調講演・草間朋子(大会長)／シンポジウム「診療看護師の活躍が現場に与えた影響」／ランチョンセミナー1松橋詩織(JCHO高輪病院、診療看護師)・2森澤雄司(自治医科大学附属病院感染制御部長)／研究発表／教育講演＝厚生労働省関係者(予定)

申し込み：「第1回日本NP学会学術集会参加申込み」と明記のうえ、会員・非会員の別、氏名(ふりがな)、所属先を下記まで

申し込み・問い合わせ先：事務局(大分県立看護科学大学内)

FAX：097-586-4347

E-mail：mpmember12@oita-nhs.ac.jp

募集

第19回東アジア看護学 研究者フォーラム (19th EAFONS)

【演題募集】

開催日時：2016年3月14日(月)・15日(火)

会場：幕張メッセ国際会議場(千葉市)

テーマ：Leadership Challenges for Advancing Doctoral Education in Nursing

演題登録期間：8月3日～9月30日

問い合わせ：19th-eafons2016@ics-inc.co.jp

http://www.19th-eafons2016.jp

助成

聖ルカ・ライフサイエンス 研究所 2016年度研究助成・ 海外派遣助成募集

公募締切：8月31日(月)

助成趣旨：臨床疫学等に関する研究費助成／臨床疫学の若手研究者の海外派遣助成

次に定める研究をさらに積極的に推進するために必要な援助助成を行う

1. 医学および看護の臨床教育に関する研究
2. 臨床疫学、医療の質並びに病院管理に関する研究
3. 予防医学に関する研究
4. 看護に関する研究

助成金額：

〈臨床疫学等に関する研究〉1件につき50万～100万円

〈臨床疫学の若手研究者海外助成〉1件につき300万円

詳細：http://slsi.or.jp/

連絡先：聖ルカ・ライフサイエンス研究所

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

TEL：03-5550-4101

FAX：03-5550-4114

E-mail：slsi@luke.ac.jp